

第28回「よみがえる樹々のいのち」展

コンセプト「人と樹々とのセッション・エコアート」

国営昭和記念公園内の剪定された樹木や間引いた竹、台風などによる倒木がチップとして土に還される前に、もう一度造形作品としてよみがえらせたいという思いのもと、制作・展示しています。

公園ボランティア「野外いけばなボランティア」の 草月会東京西支部が制作

草月流いけばなは、「いつでも、どこでも、だれにでも」、そしてどんな素材を使ってもいけられるということを特色にしています。私たちは室内に花をいけるだけでなく、様々な場面にふさわしい大きな造形作品にも挑戦しています。

多くの人が集う公園での展示は、安全面に最大の配慮をしながら、親しみのある楽しい作品ができるよう心がけています。

デザインを考え、デッサン、素材採取、制作と約半年の期間をかけての展示作品となります。

10/31(木)～「秋の夜散歩」とのコラボレーション企画で、全作品ライトアップされます。(点灯時間 16:30～20:30)

作品を見ながら、昼夜問わず秋の公園をお楽しみください。

本活動のあらまし

1997年 国営昭和記念公園からのお誘いで第1回目の「よみがえる樹々のいのち」展を開催し、今年で第28回目となります。

第3回目からはこの企画に賛同した美術系の大学をはじめ、各種の大学の参加もあり刺激的なコラボレーションとなっています。

2002年 国土交通省から全国「みどりの愛護のつどい」功労者団体表彰。

2007年 ボランティア活動に対し、財団法人公園緑地管理財団から感謝状授与。

2012年 第29回全国区都市緑化フェアTOKYO実行委員会会長より感謝状授与。

2016年 20年にわたる活動を通して、国営昭和記念公園より感謝状授与。